

再評価結果(平成21年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道329号 <small>はえばる</small> 南風原バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局																		
起終点	白：沖縄県島尻郡南風原町字与那覇 <small>しまじりぐんはえばるちやうあぎよなは</small> 至：沖縄県那覇市上間 <small>なはしうえま</small>	延長	2.8km																				
事業概要																							
<p>国道329号は、沖縄本島の太平洋側と東シナ海側を結ぶ大動脈であり本島の南部地域と那覇市を結ぶ主要幹線道路である。</p> <p>南風原バイパスは、通過交通と域内交通が輻輳し、特に朝夕の交通混雑が著しい南風原町～那覇市上間間の交通混雑緩和と那覇空港自動車道と一体となって広域ネットワークを形成することにより、地域の活性化に寄与する道路事業である。</p> <p>なお、当該道路は、平成20年度に実施したB/Cの点検結果を踏まえて、平成21年度事業の執行を見合わせ、再評価を行ったものである。</p>																							
H7年度事業化		H12年度都市計画決定		H14年度用地着手																			
全体事業費		約450億円		事業進捗率																			
計画交通量		25,400台/日		10%																			
費用対効果分析結果(3便益)		B/C (3便益)		総費用 (事業)/ (事業全体)																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">(事業全体)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.0</td> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center;"> 327/378億円 (事業費 : 321/372億円 維持管理費 : 6.0/6.0億円) </td> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center;"> 386/386億円 (走行時間短縮便益 : 352/352億円 走行経費減少便益 : 31/31億円 交通事故減少便益 : 2.5/2.5億円) </td> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center;"> 基準年 平成21年 </td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">(事業)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.2</td> </tr> </table>		(事業全体)	1.0	327/378億円 (事業費 : 321/372億円 維持管理費 : 6.0/6.0億円)		386/386億円 (走行時間短縮便益 : 352/352億円 走行経費減少便益 : 31/31億円 交通事故減少便益 : 2.5/2.5億円)		基準年 平成21年		(事業)	1.2	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">(事業)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.0</td> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center;"> 327/378億円 (事業費 : 321/372億円 維持管理費 : 6.0/6.0億円) </td> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 20%; text-align: center;"> 386/386億円 (走行時間短縮便益 : 352/352億円 走行経費減少便益 : 31/31億円 交通事故減少便益 : 2.5/2.5億円) </td> <td colspan="2" rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center;"> 基準年 平成21年 </td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">(事業)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1.2</td> </tr> </table>		(事業)	1.0	327/378億円 (事業費 : 321/372億円 維持管理費 : 6.0/6.0億円)		386/386億円 (走行時間短縮便益 : 352/352億円 走行経費減少便益 : 31/31億円 交通事故減少便益 : 2.5/2.5億円)		基準年 平成21年		(事業)	1.2
(事業全体)	1.0	327/378億円 (事業費 : 321/372億円 維持管理費 : 6.0/6.0億円)								386/386億円 (走行時間短縮便益 : 352/352億円 走行経費減少便益 : 31/31億円 交通事故減少便益 : 2.5/2.5億円)		基準年 平成21年											
(事業)	1.2																						
(事業)	1.0	327/378億円 (事業費 : 321/372億円 維持管理費 : 6.0/6.0億円)		386/386億円 (走行時間短縮便益 : 352/352億円 走行経費減少便益 : 31/31億円 交通事故減少便益 : 2.5/2.5億円)		基準年 平成21年																	
(事業)	1.2																						
感度分析の結果																							
残事業について感度分析を実施																							
交通量変動 : B/C=1.3 (交通量 +10%) B/C=1.1 (交通量 -10%)																							
事業費変動 : B/C=1.1 (事業費 +10%) B/C=1.3 (事業費 -10%)																							
事業期間変動 : B/C=1.2 (事業期間+20%) B/C=1.2 (事業期間-20%)																							
事業の効果等																							
<ul style="list-style-type: none"> ○ 円滑なモビリティの確保(並行する現道部の渋滞損失時間、CO2排出の削減60,457t-c/50年【1.9億円※】) ○ 個性ある地域の形成(拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する) <ul style="list-style-type: none"> ・南風原町のまちづくりは南風原バイパス整備を前提に計画され、既に大型商業施設、高次医療センター、バスターミナル等がバイパス沿いに立地しており、地域経済の発展や地域住民の利便性向上に寄与。 ○ 安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる) <ul style="list-style-type: none"> ・南部医療センター・こども医療センターなど高度医療施設へのアクセス向上(「命の道」)。 約30名の救命効果【19.4億円※】 ・南風原バイパスの整備により、国道329号等の幹線道路の慢性的な渋滞により、集落内の生活道路へ進入している通過交通の減少、南風原バイパスの整備に日常生活空間の安全に寄与することが期待されている。 <p>※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)</p>																							
関係する地方公共団体等の意見																							
<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道329号は朝夕の渋滞がひどく、バイパス開通で危険の除去と地域の発展、雇用創出など地域への目に見えない便益がある。沿線には、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターや大型スーパーが開設され2箇所約1キロが一般開通されている。地元においては、各種物流面の利便性の向上や経済活動の活性化に大きく寄与し、さらに地域医療や安心・安全な沿道環境の改善などが図られつつありある。那覇市都心部と東部地域を結ぶ交通の拠点や高度医療機関と連携した計画の影響や国道329号の慢性的な交通渋滞による経済的不利益は計り知れないものであるため、地域の振興開発と活性化を推進するため、早期に事業再着工するよう、南風原町議会(平成21年4月15日)より要請を受けている ・地域の活性化、交通混雑の緩和、高度医療施設へのアクセス向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、南部市町村会及び島尻地域振興開発推進協議会等より整備促進の要請(平成21年4月10日)を受けている。 ・沖縄県の鉄軌道があまねく整備されていなかったこともあって、空港、港湾等の交通拠点や中心都市と市町村を結ぶ交通手段が専ら道路に依存している事情により交通渋滞損失時間が全国でも屈指の大きな損失をこうむっている状況にある。沿線には本県の高度多機能の医療を担う南部医療センター・こども医療センター等地域住民の命と暮らしを支える重要な施設が数多くあり、県民の安心、安全な生活環境の確保及び県土の均衡ある発展を図る観点から早急に見直しを行い計画通り事業着手するよう沖縄県議会(平成21年6月16日)より意見を受けている。 																							
<p>事業評価監視委員会の意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コストの見直しについて、地元関係者から当初計画どおりの事業実施の要望があったが、今回見直すこととした交差点部の構造等は、将来の交通量の動向によっては、改めて対応可能という説明があったので、コスト見直しは適当と判断。 ・南風原町長から、地域の置かれている状況や将来のまちのすがた、まちづくり構想との関係を説明を聞き、数字で表わせない効果があると認識した。 ・事業の効果について、3便益の他に「南部医療センターへのアクセス性向上の便益」などの地域社会が受ける便益の提案があり、合理性はある。 ・審議の結果、「事業継続」が妥当と判断。 																							

県知事の意見(平成21年4月7日)

- ・直轄国道の整備を前提に企業誘致や町づくりを進めているところであり、沖縄県特有の事情や当地域の置かれた状況を配慮し、事業の必要性を再認識し早期供用に向けて是非とも整備を継続して頂きますようお願いいたします。(以下、平成21年6月24日沖縄県知事コメントより抜粋)
- ・3月に凍結された国道329号南風原バイパスの事業について、事業継続が妥当とされたことを大変良かったと思っております。
- ・地元国会議員を始め、県議会や関係市町村及び市町村議会、地元の皆様方が一体となって、早期の事業再開を求める要望を繰り返し行ってきたことにより、適正に評価された結果だと思っています。
- ・委員会で議論されたように、道路整備の必要性について、これまでの3つの便益に加えて、幅広い観点から他の便益も検討して頂きたいと考えております。
- ・今後は、国において早期に事業が再開され整備が促進されるよう期待するものであります。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

○ 南風原バイパスの整備を前提に、中城湾港マリンタウンプロジェクトの進捗、大型商業施設の立地、南部医療センター、バスターミナル等が立地しており、南風原バイパス周辺での渋滞が生じている。そのため、バイパス整備への期待が大きい。

事業の進捗状況、残事業の内容等

[執行済み額]約47億円(執行率約10%)、一部区間(0.5km)2車線暫定供用中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

コスト削減により見直した構造の調査設計を行い、用地買収及び工事を進め、早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

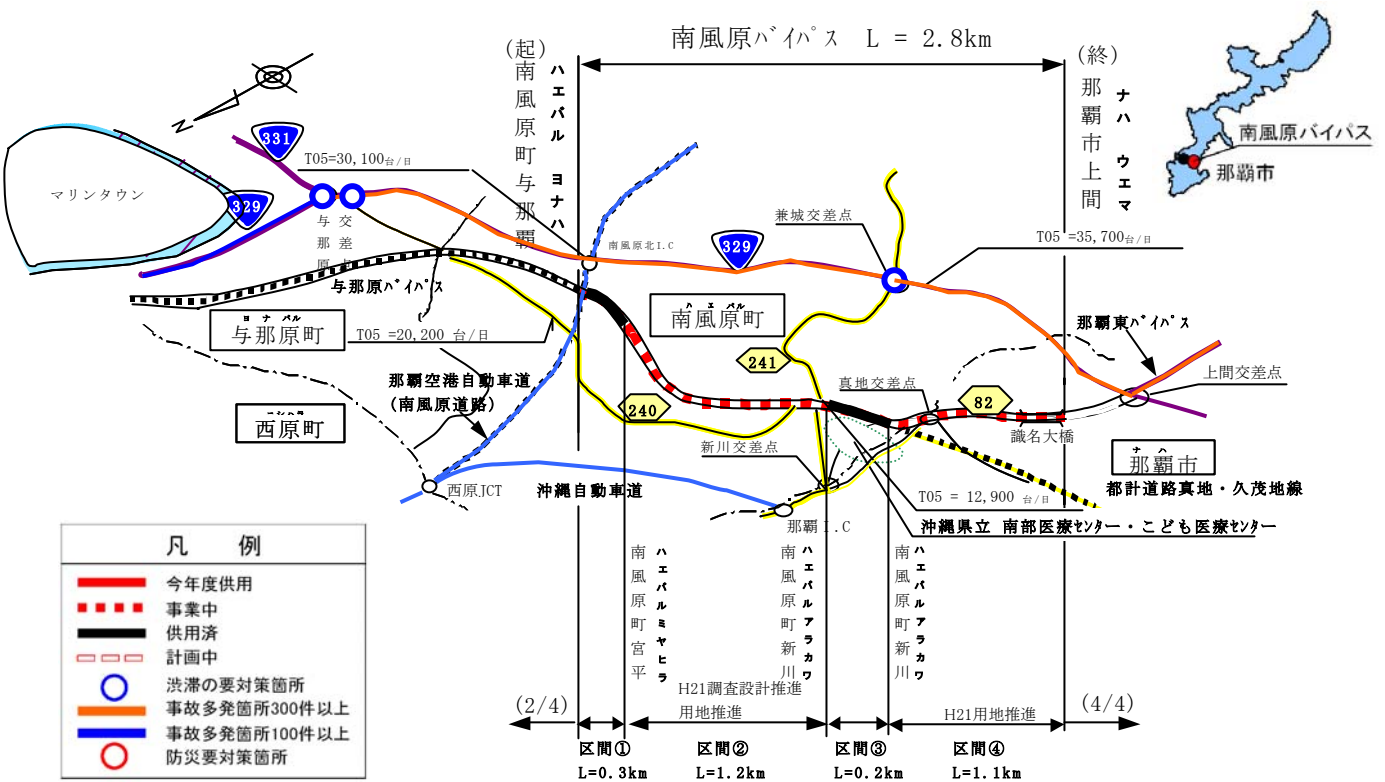
識名大橋の工法変更、立体交差(トンネル)から平面交差への見直し、橋梁構造の見直しを行い約150億円のコスト削減を図る。

対応方針 見直し継続

対応方針決定の理由

以上の事業の効果及びコスト削減等の内容、事業評価監視委員会における審議、沖縄県や地元南風原町等の意見を踏まえると、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。